

第2次伊那市総合計画【前期基本計画・前期土地利用計画】(案)に対する意見整理表

○意見募集期間 平成30年12月13日(木)～平成30年12月28日(金)

○意見の総数 16件(8人)

整理番号	ページ	箇所	意見の概要	市の考え方	担当課	意見の属性	
						地区	属性
1		全体	PDCAサイクルにより事業の検証を行い、未達成の課題は更にその要因を分析の上、課題を解決していくことが重要である。 着実な検証と、時代に即した柔軟性のある計画の運用に期待する。	意見のとおり、計画の進行管理を着実にを行い、効果的な施策の展開に努めます。	企画政策課	美篤	地域協議会
2	P40	前期基本計画 3-2-3 地域福祉 施策と展開方針 2 意識改革と人材育成による 地域福祉の推進	現在は、一部の地域役員だけが活動に関与していることが実態である。活動の必要性を広く住民に理解してもらうための啓もう活動が必要である。地域ごとに講習会などを開催してはいかか。また、ボランティアの募集を頻繁に行うとともに、その活動費に対する助成も検討されたい。	施策と展開方針の「2 意識改革と人材育成による地域福祉の推進」の中で、「地域における住民参加の福祉活動を推進し、住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、『お互い様の気持ち』で支え合える地域共生社会の実現を目指す」として、展開方針の位置づけを行っていますので、意見に基づく原案の修正は行いません。 総合計画及び地域福祉計画に則り、効果的な施策の展開に努めます。	社会福祉課	伊那	地域協議会
3	P43	前期基本計画 3-2-4 障害者福祉 施策と展開方針 1 地域生活の支援	「地域生活支援拠点（体制）の整備を進めます。」とあるが、「●●のため、」「●●できるように、」など、整備の必要性や地域の協力体制などをもう少し明確に表現されたい。	意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 【修正前】 ○地域生活支援拠点（体制）の整備を進めます。 【修正後】 ○障害者が住み慣れた地域で安全に暮らせるよう、地域生活支援拠点（体制）の整備を上伊那圏域で進めます。	社会福祉課		市議会議員
4	P48	前期基本計画 3-2-6 高齢者福祉 施策と展開方針 2 外出支援	バスやタクシーなどの公共交通機関では、どうしても隅々まで支援が行き届かないため、送迎ボランティアの制度を広く普及させる必要があると考える。実際の取組は、各地域で行うものであるが、行政として制度のガイドラインを作成し、各地域が取り組みやすくなるような支援をお願いしたい。	意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 【修正前】 ○外出支援の交通対策として、福祉タクシー券等の交付や住民主体による移送支援サービス（訪問型サービスD）の立ち上げ支援を行います。 【修正後】 ○外出支援の交通対策として、福祉タクシー券等の交付やボランティア移送の実施、住民主体による移動支援サービス（訪問型サービスD）の立ち上げ支援を行うとともに、地域における取組を推進するため、各事業が一体的となったわかりやすい資料の作成、提供に努めます。	高齢者福祉課	伊那	地域協議会
5	P58	前期基本計画 4-1-2 林業 施策と展開方針	①計画的な森林整備の推進 西春近団地、林道改良・開設計画を具体的に実行していただき、感謝する。平成32年度以降の新規開設について、権現山山頂までではなく、西駒山荘直下までルート の延長 をお願いしたい。 ②林業の振興 集約化の専門部署を設置して、境界の明確化に向けた取組を推進されたい。 ③治山治水の推進 外資による水源地の買収が増えているため、法的な規制が必要である。 ④森林資源活用の推進 各専門分野との連携を行政が率先して進めていくべきである。 ⑤森林環境学習の推進 西春近北・南小学校には学校林が無い ため 、本高砂屋地籍の借用をお願いしたい。「みどりの少年団」の活動のほか、都立北園高校の作業に活用できると考える。	意見の内容は、原案で示した各施策を展開していく中で、今後の取組の参考にさせていただきます。 ①西春近の林道開設は、森林整備に有効な林道開設に向けて取り組めます。現状では、西駒山荘直下までの開設は難しいと考えます。 ②体制の整備については現在検討中ですが、境界の明確化に向け、森林環境譲与税を活用するなどして取組を進めます。 ③現状では、法的な規制は考えていません。 ④多業種間の連携などを推進します。 ⑤本高砂屋の森林整備についても引き続き検討します。	耕地林務課	西春近	地域協議会
6	P62	前期基本計画 4-1-3 工業等 K P I	粗付加価値額の目標は、5年間で104.9%の伸びを見込んでいる一方で、製造品出荷額の目標は現状値の約80%であるため、備考欄へ数値根拠を明記されたい。	昨年末に策定した商工業振興ビジョンとの整合を図るため、製造品出荷額の2023年度の目標値を1,275億円から1,675億円（数値根拠は「現状値+5%」）へ修正します。	商工振興課		市議会議員
7	P78	前期基本計画 4-3-1 観光 施策と展開方針	○インバウンドの需要把握策についての提案 外国人観光客の见たいものと伊那市が見せたいものが同じではないと感じるため、外国人を招待するモニターツアーやFAMトリップ（ターゲットとする国の旅行事業者やブロガー、メディアなどに現地視察してもらうツアー）を行い、外国人観光客目線で需要を把握していく必要があると考える。	意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 【修正前】 4 観光客の需要の把握と対応 ○マーケティング調査や旅行関係者へのヒアリング調査など、観光客の需要の的確な把握に努めます。 【修正後】 4 観光客の需要の把握と対応 ○マーケティング調査や旅行関係者へのヒアリング調査など、 <u>インバウンドも含めた</u> 観光客の需要の的確な把握に努めます。	観光課		市議会議員

整理番号	ページ	箇所	意見の概要	市の考え方	担当課	意見の属性	
						地区	属性
8	P101	前期基本計画 5-2-1 生涯学習 施策と展開方針 2 公民館活動の推進	核家族化により、保育園入園前の子どもを育てる親の孤立が、児童虐待につながっているとの指摘がある中、公民館の取組に対する期待は大きい。館長・主事に十分な対応を期待することは酷であり、保育士経験者による支援が欠かせない。公民館で取り組んでいる未就園児とその親を対象とした講座の充実を図りたい。	意見を踏まえ、下記のとおり追記します。 《修正後（新規追加）》 【施策分野における現状と課題】 ○核家族化の進行やストレス社会の影響から、孤立しがちで身近な相談先がない親が増加傾向にあるため、身近なところで気軽に参加できる公民館の子育て講座の充実や支援体制の強化が求められています。 【施策と展開方針】 ○乳幼児を育てる親の孤立を防ぐため、各館子育て講座を開催する中で、保健師や保育士との連携強化や支援体制の充実を図ります。	生涯学習課	西春近	地域協議会
9	P104	前期基本計画 5-2-2 文化・芸術 施策と展開方針 2 文化財の保存・継承・活用	文化財の保護・活用のために、「まほら伊那 いいとこ百選」を再整備してはいいか。旧伊那市では、いいとこ百選を選定し、標柱を立てた経過がある（高遠や長谷でも同様の取組があったようである）。現在、その標柱は日に焼けて読めず、利活用がされていない。数は100でも200でも良いと思うが、全市を対象に再度選定を行い、標柱やマップを再整備して、市内外の学校教育や生涯学習での活用を図りたい。	意見の内容は、文化財等を市民等の学習・研究及び地域の活性化に活かすため作成する「歴史文化基本構想」に基づく保存活用計画策定の中で検討します。	生涯学習課	西春近	地域協議会
10	P119	前期基本計画 6-1-4 都市計画	竜東地区では、境、日影地区を中心に宅地化が進行しているが、国道153号バイパスや環状南線の開通などにより、沿道の宅地化は更に加速すると考えられる。景観を保全しつつ、防災上必要な道路や水路を確保するとともに、計画的な農地の利用を図りたい。	施策分野「都市計画」の中で「国道153号伊那バイパス及び国道153号伊駒アルプスロード沿線の土地利用誘導策を地域住民とともに検討し、決定します。」として展開方針の位置付けを行っています。また、前期土地利用計画においても、第6章第2節-3 伊那(竜東)・美篤・手良地域の土地利用の基本方向に「国道153号伊那バイパスの整備や主要地方道伊那インター線（環状北線）の延伸を促進するとともに、沿道の乱開発や無秩序な開発を抑制するため、適正な土地利用への誘導に努め、必要な都市基盤の整備を推進します。」として、同様の位置付けを行っているため、意見に基づく原案の修正は行いません。 引き続き適正な土地利用の誘導に努め、必要な都市基盤の整備を推進します。	都市整備課	伊那	地域協議会
11	P122	前期基本計画 6-1-5 地域幹線道路網 施策と展開方針 2 安全性確保のための整備と管理	市道の改良は徐々に進んでいるが、飯田線の踏切は昔の狭いままであるため、片側相互通行の箇所がある。特に、通学路の踏切は歩行者の危険が伴うため、JRに対し、踏切の改良について働きかけをお願いしたい。	意見を踏まえ、下記のとおり追記します。 《修正後（新規追加）》 【施策と展開方針】 ○幹線道路において通学路等の安全確保が必要な踏切道については、鉄道事業者等と協議しながら、危険箇所の解消に向けた取組を促進します。	建設課	西春近	地域協議会
12	P126	前期基本計画 6-2-1 防災・減災	消防署や防災コミュニティセンターなど、防災拠点施設が竜西地区に集中しているため、竜東地区へも防災拠点施設の整備を検討されたい。	施策分野「地域幹線道路網」及び「防災・減災」の中で、「国道153号バイパス沿線に防災拠点としての機能を備えた『重点道の駅』の設置に向けた検討を行う」として、展開方針の位置付けを行っていますので、意見に基づく原案の修正は行いません。	危機管理課	伊那	地域協議会
13	P126	前期基本計画 6-2-1 防災・減災	伊那消防署の移転により、竜東地区への消防車の到着に時間を要するようになった。また、竜東地区には入院設備を持つ病院が少ないため、災害時の被害が拡大する恐れがある。このため、上の原区へ消防署の分室と防災コミュニティセンターの役割を併せ持つ防災拠点施設を整備されたい。	施策分野「地域幹線道路網」及び「防災・減災」の中で、「関係機関との連携を深め、迅速な災害対応に努める」「災害時の避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動に必要な緊急輸送路の整備を推進する」「国道153号バイパス沿線に防災拠点としての機能を備えた『重点道の駅』の設置に向けた検討を行う」など、展開方針の位置付けを行っていますので、意見に基づく原案の修正は行いません。	危機管理課	伊那	地域協議会
14	P128	前期基本計画 6-2-1 防災・減災 施策と展開方針 3 自主防災組織の充実	防災訓練、避難訓練を重ねる中で、行政はどこまでを対応し、区や集落では何を分担するのか、それぞれの役割がはっきりせず、不安が残る場合がある。自主防災組織と市の防災マニュアルの整合を図り、訓練の中で役割を明確化することが必要であると考えられる。	災害発生初期は、行政の支援が行き届かないことが想定されるため、自分の身は自分で守る「自助」の力や、地域の中で助け合う「共助」の力が必要になります。 施策分野「防災・減災」において、「自主防災組織の効果的で実践的な防災訓練の仕組みづくりを進めるとともに、各自主防災組織が相互に情報交換する場を提供し、自主防災組織の底上げを図る」「災害対応の中核となる危機管理部門の組織体制を強化し、災害対策本部へ繋ぐ災害現場からの情報収集と伝達方法について研究していく」など、展開方針の位置付けを行っていますので、意見に基づく原案の修正は行いません。	危機管理課	西春近	地域協議会
15	土地 -5-	前期土地利用計画 第2節 田園集落山間地域 2 農業振興山間区域	「集落周辺や中山間地の農地については、農地の集積や作業受委託等を進め、農地の保全と営農の継続を図り、耕作放棄地の発生を抑制します。」とあるが、このような地域は①圃場整備がなされず、不整形な土地が多い、②未整備の水路の漏水がある、③農道が未整備で大型の車両や農業機械が入れない、④畦畔が大きく、草刈り作業に人手がかかるなど、集積が困難であり、作業を委託したくても受託者がいないことが現状である。こうした農地をどのように活用していくのか、市民の理解が得られる明確な方針により、表現の見直しを検討されたい。	意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 【修正前】 ○集落周辺や中山間地の農地については、農地の集積や作業受委託等を進め、農地の保全と営農の継続を図り、耕作放棄地の発生を抑制します。 【修正後】 ○集落周辺や中山間地の農地については、農地の集積や作業受委託、スマート農業技術を活用した省力化等を進め、農地の保全と営農の継続を図り、耕作放棄地の発生を抑制します。また、国・県の補助事業を活用し、地域と協働して必要な農地の整備を検討します。	農政課	西春近	地域協議会
16	土地 -5-	前期土地利用計画 第3節 自然環境保全地域 2 自然公園区域	観光資源にならずとも、小規模なキャンプ場をつくる、保育園の川遊びで利用するなど、地域の人々の憩いの場として提供いただきたい。	「2 自然公園区域」に「自然の風景地等については、保健休養や自然体験等、自然と触れ合う場としての利用を図る」として基本方向の位置づけを行っていますので、意見に基づく原案の修正は行いません。 自然公園法に基づき適正な保全に努めながら、土地の有効活用を図ります。	生活環境課	西春近	地域協議会